

平成22年度市民公益活動促進補助金申請事業公開審査の結果

大阪狭山市市民公益活動促進委員会

●公開審査実施日：平成22年4月18日（日）

●参加団体数及び事業数

チャレンジ部門：6団体・6事業 ○総補助金申請額：586,000円

自立促進部門：5団体・5事業 ○総補助金申請額：637,000円

●審査結果：両部門とも全事業を採択の推薦を決定し、補助金の査定額は下表のとおりです。

■チャレンジ部門

発表順	申請団体名	申請額 (円)	査定額 (円)	申請事業の概要	評価に関するコメント
	事業名				
1	大阪金剛ロータリークラブ	86,000	86,000	がん検診による早期発見と早期治療、禁煙によるがん発生率の減少を図るため「がん撲滅運動」をテーマに講演会をサヤカホールで実施する。 実施日：6月26日 第一部「がん撲滅運動宣言」 「大阪狭山市のがん検診の現状」 第二部「がん克服体験談」「ソプラノとピアノの演奏会」	事業計画及び収支計画に関し、分りやすく作成しているとともに、広報活動や団体内の情報の共有化を積極的に行っていることが評価できる。 病気の中で、一番恐怖感のある「癌」をテーマに健康を追求した事業であるが、その自立性と継続性につながる事業となるよう期待する。
	大阪狭山市民による、がん撲滅運動				
2	地域を耕すみんなの子育て情報誌 “ママ咲く”	100,000	100,000	新しい子育て世代への支援の、子育てしやすいまちづくりをめざして地域情報誌を作成する。「子ども性教育を考える」をテーマに講演会を市立公民館で実施する。 実施日：10月 第一部 市民のふれあい 第二部 子育て講演会 テーマ「子どもの性教育」	市の施策の柱の一つである「子育てにやさしいまちづくり」につながる事業として評価できる。 情報誌やアンケートの結果を最大限に生かし、ニーズに応えられる事業となるよう期待する。
	子育て講演会及び、その内容に沿った市民子育て情報誌作成				
3	三津屋川を美しくする会	100,000	100,000	三津屋川を美しくし、維持することにより、地区の景観環境の向上を図り、下流の狭山池へのゴミ流入を減じ、池の環境ならびに水質を保全するために清掃を実施する。 実施日：年3回（地域住民による定期清掃） 年1～2回（協力団体による清掃、川を守る啓発活動） 月1回（会員有志による小清掃）	数多くの団体と連携、協力し、地域のニーズや課題解決につながる事業として評価できる。 環境浄化の推進につながる事業としての波及効果に期待する。
	三津屋川の美化・愛護事業				

4	KIZUNA☆倶楽部 (喜寿な☆倶楽部)	100,000	100,000	コミュニケーション能力、地域の人々の精神（心のゆとり）の向上、交流、商店（利益の向上）を活発にするためスキルアップセミナー「寺小屋カフェ」を市立コミュニティセンターで実施する。 実施日：5月から毎月1回	すべての人を対象にコミュニケーション術をテーマとした市民組織としての新たな分野への取り組みは評価できる。 人間関係が希薄化している社会において、コミュニケーション術を普及することは意義あることであり、事業の広がりに期待する。
	寺小屋カフェ				
5	珊瑚の会	100,000	100,000	広く市民（生徒、学生を含む）を対象に文化教育活動（英会話教室、論語塾、落語会、紙芝居など）の支援を行い、文化教育の向上を目的に市立公民館、サヤカホールで実施する。 実施日：5月から翌年1月までの毎月1～2回	青少年を含め広く市民を対象に文化教育活動をテーマに取り組む市民組織が少ない中で、その普及に取り組むことは評価できる。 地元大学と連携あるいは協力関係の構築に期待する。
	三語（英語・論語・落語）、紙芝居、茶道と琴などのイベント				
6	特定非営利活動法人 ふれ愛さやま	100,000	100,000	市内に回収拠点を設けて、市内全域に亘って廃天ぷら油をボランティア活動により回収し、リサイクルすることにより資源の有効利用を進め、地球温暖化防止活動を実施する。 実施日：通年	地球温暖化防止の草の根的な活動として評価できる。 廃天ぷら油回収ボックスの設置箇所の更なる拡大と継続的な活動を期待する。
	廃天ぷら油回収による地球温暖化ストップ活動				
		586,000	586,000		

■ 自立促進部門

発表順	申請団体名	申請額 (円)	査定額 (円)	申請事業の概要	審査会からのコメント
	事業名				
1	大阪ムーブメント教育研究会	90,000	90,000	スカーフ・パラシュート・カラーロープなどのムーブメント遊具と音楽の融合の軽運動を通して、高齢者の健康づくり、生活作りを支援するために、市立コミュニティセンターで教室を実施し、実践発表を行う。 実施日：毎月第1土曜日 実践発表（8月29日）	健康推進をテーマに取り組む市民組織が少ない中で、教育・療法の理論に基づき、遊具と音楽を活用した軽運動の普及に取り組むことは評価できる。 自立性、継続性をめざす事業にするためには、事業収入などの自己財源の確保に対する創意工夫に期待する。
	いきいきムーブメント教室				
2	若駒会	240,000	240,000	初心者や指導対局などの年齢性別を問わない将棋の祭典として、将棋大会やプロの棋士の将棋教室、講演会をサヤカホールで実施する。 実施日：8月22日	将棋を通じ、特に子どもの人間教育のあり方を追求する事業であることが評価できる。 事業をより周知、発展させるためには、多様な広報媒体を有効活用することに期待する。
	第2回大阪狭山市「将棋の祭典 in SAYAKA」				
3	特定非営利活動法人ワーカーズふるむさやま	77,000	77,000	「11月11日介護の日」事業として、地域社会に介護への理解を深め、地域全体で介護の問題を考える機会を提供するために、介護にかかわる4つの活動を実施する。 ①フリーダイヤル活動②介護を語る冊子活動③インターネットを中心とした情報提供活動④映画を見て話す活動 実施日：11月1日～11月30日	介護は、地域の大きな課題であり、その解決とともに、事業の拡大につながる可能性が高いことが評価できる。 今後、ますます介護に対する需要増が見込まれることから、自立性、継続性につながる事業となるよう期待する。
	介護への理解を深める ー「11月11日は介護の日」ー事業				
4	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ大阪狭山	90,000	90,000	子どもの成長に欠くことのできない食育、手づくりの良さを子どもが見て・触り・遊ぶ体験の場を提供するために、「コミュニティ子育て広場」を市立コミュニティセンターで実施する。 実施日：毎月2回	市の施策の柱の一つである「子育てにやさしいまちづくり」につながる事業として評価できる。 この補助金制度に時限性があることを見据え、自立性と継続性を担保できるような体制づくりを期待する。
	次世代育成支援 コミュニティ子育て広場（～おでかけなかよし広場～）				
5	大阪狭山市食生活改善推進協議会	140,000	140,000	生活習慣病の予防、バランスの良い食生活による能の活性化、災害時の栄養・食生活の学習などを目的に、健康文化講演会と教室などを市立保健センターで実施する。 実施日：毎月第2木曜日 産地体験学習（10月20日予定）	健康寿命を延ばすための食生活のあり方を追及する様々な活動の取り組みは評価できる。 この補助金制度に時限性があることを見据え、自立性と継続性を担保できるような体制づくりと地産地消の推進を期待する。
	「健康文化講演会」「よい食生活をすすめるための講習」「食育教室モリモリ」				
		637,000	637,000		